

## イノベーションの成果の実用化についての意見書

2012 年 7 月 30 日

竹内 誠

### 1. 医療イノベーション政策の司令塔機能強化

我が国として一体的に医療イノベーション政策を推進するため、医療イノベーション政策に関する真の意味での司令塔機能の強化が必要である。

つまり、関係する行政当局の連携を図りつつ、基礎から実用化までを見据えた戦略の策定と予算配分、成果の評価を行い、より整合性の取れた医療イノベーション政策を効率的かつ効果的に推進させるべきである。

### 2. ライフサイエンス関連予算の一本化と増強

政府の科学技術関係予算の構成をみると、基礎研究分野は主に文部科学省に計上されている一方、応用研究等の実用化に向けた研究は事業所管省庁に計上されている。このため、基礎研究と応用研究間で十分な連携を図ることが難しいと想定される。司令塔のもとでの関連分野の予算の一本化が必要である。

アメリカの FY2010 予算では、米国民の健康向上に寄与するバイオ医療科学に係る事業への予算配分を優先するよう求めている。そして国立衛生研究所 (NIH) へ前年度比 10 億ドル増の 310 億ドルを計上した。一方、日本のライフサイエンス予算は、2009 年度 3,461 億円であり、NIH 予算の 10 分の 1 程度である。

政府における研究開発関連予算においては、従来、分野間の比率に大きな変化がみられていない。今後は、ライフ・イノベーションなどの重点分野に予算を重点的に配分することが重要である。

国民の健康増進に加え、国際競争力を強化していくために、少なくともライフサイエンス予算は、米国との人口比率を勘案しても 4 年後に倍増、10 年後に 5 倍増を目標とし、拡充していくべきである。

以上